

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2006. 5. 17

人・街・ながた震災資料室

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

寅さん長田に帰る 寅次郎 紅の花

— のじぎく兵庫国体で震災資料室展・会場は2ヶ所で —

50年ぶりの開催となる第61回国民体育大会は、県下すべての市町を会場に行われる。スポーツ芸術の分野では、長田区を舞台に阪神淡路大震災の記録展が催される。県立文化体育館で9月30日～10月2日、長田区役所で10月3日～10月10日におこなわれることになっており、全国の皆さんに、震災で培われた「人と人との支えあう大切」を「寅さん」と重ねあわせて知ってもらおうという企画だ。

ロケ地は菅原市場

山田洋次監督の心を動かしたのは、あの大震災の中から復興へ立ち上がろうとしている長田の人々だった。ロケ地は大火災にあった御蔵・菅原地区で、多くの人々は御蔵小学校へ避難した。地区の被害は全焼・全壊が8割に達し、一瞬にして家を奪われてしまった。

この御菅地区は区画整理事業で復興への取り組みが行われてきたが、人口回復率はまだ途中である。この地区には2つの「すいせん」の名のついた公園がある。

当資料室には、御菅地区の当時の写真や、焼けただれた小銭やコップ・お米などが保存されており、今回の資料室展で公開する。是非、全国の皆さんに見ていただきたい地区である。

神戸学院大の学外授業

はじまる —震災資料室で

神戸学院大・人文学部水本ゼミの学生の学外授業が、6月14日に長田区役所で行われる。内容は長田区概要説明・公務員初任者研修・区役所業務・長田の歴史などだ。同ゼミはのじぎく国体「スポーツ芸術」イベント企画である「震災資料室展」への学外授業も予定されており、「ながた」との関わりが深まっている。

今回の学外授業で、行政の最先端である区役所を通じて住民と区行政のあり方を学ぶ予定だ。そして、地域と積極的に関わりを持ち、「人と人との支えあうこと」を身近に感じ、今後の学究活動に役立てていただく。

山田洋次監督・プロフィール

昭和6年(1931)9月13日、大阪府豊中市生まれ。父が満鉄に勤めていたため満州に渡り、少年期を過ごした。

昭和29年(1954)東京大学法学部卒後、助監督として松竹に入社。脚本の執筆に携わっていたが、昭和36年(1961)『二階の他人』で監督デビューを果たす。昭和38年(1963)に『下町の太陽』(第2回監督作品)、その後『馬鹿まるだし』などを監督。

昭和44年(1969)、映画『男はつらいよ』シリーズ第1作を製作・公開。以来、日本中の人々から愛され続け、平成8年(1996)正月作品まで実に48本を数えた。

ほかにも代表作として『家族』『故郷』『同胞』を初め、第1回日本アカデミー賞監督賞他5部門受賞の『幸福の黄色いハンカチ』や『遙かなる山の呼び声』松竹・大船撮影所50周年記念映画『キネマの天地』、そして『ダウンタウンヒーローズ』や第15回日本アカデミー賞作品賞他4部門受賞の『息子』などの名作があり、平成5年(1993)には十数年間温め続けて来た『学校』を製作、日本中を感動の涙で包み込み、日本アカデミー賞最優秀作品賞他、数々の映画賞を受賞した。平成8年(1996)に公開された『学校Ⅱ』も各方面から話題をあつめ、大絶賛を浴びた。

そして、主役の渥美清が亡くなり、27年間続いたお正月映画『男はつらいよ』シリーズはついに終焉を迎えたが、「お正月は自分の手で」と西田敏行主演で『虹をつかむ男』(平成8年12月)、『虹をつかむ男 南国奮斗篇』(平成9年12月)を連続公開し、いずれも大反響を巻き起こした。『学校Ⅲ』(平成10年10月)に続き、『十五才一学校Ⅳ-』(平成12年11月)も大成功を収めた。

藤沢周平原作の初の本格時代劇(平成14年11月)『たそがれ清兵衛』は、映画各賞を独占し、米国アカデミー賞外国作品賞にノミネートされた。続く藤沢時代劇第二弾『隠し剣 鬼の爪』(平成16年10月30日)も「日本映画にまたひとつ名作が誕生」と日本中の話題になった。

現在は、待望の藤沢時代劇第三弾『武士の一分』(主演・木村拓哉)の撮影中である。

また、芸術選奨文部大臣賞、毎日芸術賞、菊池寛賞、毎日映画コンクール監督賞、山路ふみ子映画賞、第4回日本映画復興賞など、数多くの賞を受賞してきた。

著書には、「映画館がはねて」(中央公論社・中公文庫)、「山田洋次作品集」(新装版・立風書房)、「映画をつくる」(大月書店・国民文庫刊)、「寅さんの教育論」「寅さんの人間論」(岩波書店・岩波ブックレット)、「寅さんの学校論」(共著、岩波書店・岩波ブックレット)、「息子」「家族」「学校」(岩波書店・同時代ライブラリー)、「キネマの天地」(新潮社・新潮文庫)、「シナリオをつくる」(山田洋次・朝間義隆、筑摩書房)、「落語作品集 真二つ」(新潮社・新潮文庫)、「寅さんの人生語録」(山田洋次+朝間義隆・PHP出版)など多数ある。

★昭和57年(1982)都民文化栄誉章。 ★平成8年(1996)紫綬褒章。
★平成14年(2002)勲四等旭日小綬章。★平成16年(2004)文化功労者。

《松竹(株)大西洋さん 提供》

のじぎく兵庫国体

2006 in K O B E

開催期間 平成18年9月30日(土)~10月10日(火)

